

第5回 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会 募集要項

1. 第5回GCOE学生主催若手合宿研究交流会について

このたびは3月11日の東日本大震災により被災された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今年で5回目を迎えます、生命機能研究科の若手研究者による若手研究者のための研究交流合宿が開催されます。本合宿は、生命機能研究科 GCOE プログラム「高次生命機能システムのダイナミクス」の一環として、「異分野融合」を担う人材の育成を視野に入れた、生命機能研究科の若手研究者での研究交流を目的としています。

「Communifusion (Communication+Fusion)」

この言葉を本年度の合宿全体のテーマとして掲げました。異なる研究分野がそれぞれ融合、交流するためには、相互理解が不可欠です。異分野の研究者とコミュニケーションをとり、相手の研究内容や研究背景を詳しく知る。大学院や若手研究者時代にこのような経験をすることが将来的に融合研究を生み出す土壌となると考えています。

そこで、第5回を迎えます本合宿では「相手（異分野）を知ること」に重きをおいたプログラムを用意しています。また、今年は海外研究者の招聘に加え、新たに名古屋大学からも本合宿に参加していただく予定です。多様な分野や文化と混ざり合い、大いにディスカッションを楽しみましょう。本合宿が皆様にとって、将来的な融合研究という大きな実を結ぶための土壌作りとなることを願っています。

第5回 GCOE学生主催若手合宿研究交流会 実行委員長 松田 一成

2. お誘いのメッセージ

生命機能研究科の大学院生、PD 研究員、特任助教、助教の皆さん

生命機能 GCOE プログラムで学生主催の学生・若手合宿研究交流会を開催するのも今年で 5 回目となりました。

3 月 11 日の東日本大震災では大勢の方々が亡くなられ、まだまだ大勢の方達が苦しい生活を強いられています。その影響をほとんど受けずに平穏な暮らしを続けることのできる我々にできること、そして、日本の将来が大きな危機にさらされているこういう時だからこそ我々が為すべきことは、どのような危機も乗り越えていける強い日本を形作り、人類社会を豊かに発展させることのできる科学と技術を産み出すべく、広い視野でよく考えて研究を進めることです。

生命機能研究科の GCOE で我々がめざすのは、基礎生命科学、医学、理学、工学を含む広い範囲の研究分野の融合を推進して、従来の生命科学の枠組みを越えた世界最高水準の分野横断的教育研究拠点を創ること。そして国際交流を推進して、次世代の国際社会を担う若手人材を育成することです。

主役は学生と若手研究者である皆さんです！

生命機能研究の様々な分野を世界の最先端で牽引するこの研究科で、その研究の枠組みをぶち破り、さらに高いレベルに発展させて、未来の予測医療や新しい原理に基づくものづくり、耐障害性の高いシステム作りに展開させるためには、異なる分野で教育を受けた皆さんがお互いの垣根を越えて密に議論を重ね、新しい研究分野や研究手法を切り開く以外に道はありません。各グループの研究を個別に推進するだけでは実現不可能な「未知の領域への挑戦」。これがこの研究交流会のキーワードです。是非この会に参加して生命機能研究の未来をじっくり語り合ってください。きっとそこに何かが生まれるはずですよ。

この GCOE 学生主催合宿研究交流会は、異分野融合の積極的な推進のためにと考えた活動の一つであり、生命機能 GCOE 活動のなかで最も重要なものです。皆さん一人一人がこの機会を積極的にかつ有効に活用し、普段はあまり話し合う機会のない研究分野の人たちといろいろな話をするきっかけにして、今後の研究に役立てて欲しいと思います。

海外から大学院生や若手研究員を招いてこの会を開催するのも 3 回目となりました。彼らも皆さんと一緒にあって、異分野融合への旅の始まりを満喫してくれると期待しています。この貴重な機会を大いに楽しんでください。そうするうちに必ずどこかで「おもしろい」研究が生まれてくるはずですよ。それを楽しみにしています。

柳田敏雄 GCOE リーダー

難波啓一 GCOE 学生主催若手合宿研究交流会担当運営委員

3. 開催日程

2011年 7月25日(月)～27日(水)(2泊3日)

4. 合宿会場

KKRホテルびわこ : <http://www.kkrbiwako.com/>

比叡山の見下ろす、琵琶湖湖畔に位置するホテル。

おいしい空気に包まれながら、おいしい料理と美しい湖畔があなたを待っています。

※ 無線LANによるインターネット環境を整備予定です。

5. 参加対象者

生命機能研究科所属の

- ・ 学生
- ・ ポスドク
- ・ 助教

加えて、

- ・ 他研究科所属の生命機能研究科GCOE担当講座の学生
- ・ 海外研究者(各研究室が招聘)
- ・ 名古屋大学学生、ポスドク(若干名)

※ 海外研究者を招聘されたホスト研究室に所属の方は必ずご参加頂きますようお願いいたします。

※ GCOEにより雇用されている学生・ポスドクはご参加頂きますようお願いいたします。

※ 生命機能研究科の兼任教員の研究室に所属する他研究科の方は、お問い合わせください。場合によりご参加いただけない可能性がございますので、予めご了承ください。

※ GCOE 以外の経費で雇用されている研究員の方の参加については、COE 企画室にお問い合わせください

※ その他に所属する方で参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

- (問い合わせ先 : gcoe.yrr.2011@gmail.com)

6. 参加費

参加費 21,000 円(ホテル代、食費を含む)を当日お支払い下さい。

(後日、旅費として大部分がGCOE/研究科より支給されます。)

※ 学生教育研究災害傷害保険(大学院入学時に全員加入することになっています。)への加入を参加条件としています。未加入の方は、必ず加入しておいて下さい。また、

ポスドクの方は雇用形態によって保険が異なります。ご不明な点があれば、COE企画室までお問い合わせください。

※ なお、GCOEからの旅費支給額の詳細に関しましては、各研究室の合宿委員もしくは以下までお問い合わせください。

➤ （問い合わせ先：gcoe.yrr.2011@gmail.com）

7. 応募方法

募集メールに添付されている応募フォームの必要事項をご記入の上、

gcoe.yrr.2011@gmail.com

まで添付メールとしてご提出ください。

※ メール の 件名 は 「GCOE合宿応募 研究室名・学年（5年一貫制）・氏名」としてください。

➤ 例) 件名：GCOE合宿応募 近藤寿人研究室 D3 松田一成

※ 添付ファイルの名前はアルファベットで「研究室名_氏名」と変更してください。

➤ 例) kondoh_matsudakazunari.xls

※ 添付ファイルのファイル形式はExcel2003（Mac版2004）までの形式（拡張子が.xls）として頂きますようお願いいたします。

※ 特筆事項が無い場合は、本文は空白で構いません。

※ 添付の応募フォームはこちらからダウンロードする事も出来ます。

<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/events/wakate-h23/guideline.html>

8. 応募締切

7月1日（金）17：00

です。早めのご応募をお待ちしております。

※ 原則、キャンセルは認められません。

※ やむを得ない理由により途中参加、途中退場を希望される方は、その理由を本文に添えてご応募ください。

※ 参加をご希望の方で、上記期限までに予定が確定しない場合は、応募フォームの該当箇所にその旨を記入してご応募ください。

9. 合宿内容

海外の研究者との交流を含むため、原則として言語は英語となります。

(1) ポスターセッション

各個人が持ち寄ったポスターを用いて、自分の研究を紹介してください。このポスターセッションを通じて、様々な分野の研究者との交流、意見の交換を行います。今回は素晴らしいポスター発表をされた方にポスター賞を用意しています。

(2) グループディスカッション

ポスターセッションを通じて自分の興味ある研究室（研究内容）を選択します。同じ研究室を選択した人同士でグループを作ります。グループ内でのディスカッションを通じて他研究室の研究内容を理解し、自分の言葉で他研究室の研究紹介をしてください。出来るならば、その研究における展望や応用を自分の研究背景を生かして提案してください。最終日に、これらの内容をプレゼンしてもらいます。

(3) オープンディスカッション

少人数のグループ内での討論会だけでなく、1つのテーマに対して合宿に参加した多くの人と意見を交換する場を提供します。この企画では、グループ内だけでなく、会場全体でひとつのテーマについてディスカッションしてもらいます。まずそのテーマに沿った講演を聞き、講演者より参加者へ疑問を投げかけてもらいます。参加者はその質問に対してYESもしくはNOといった意思表示をもらい、それぞれが持つ意見（なぜYESなのか、NOなのか）を会場全体で交換します。

(4) エクスカーション

ディスカッションから離れた場面で普段の会話を楽しみながら若手研究者が年齢や分野の壁を越えてお互いの理解を深めるとともに、気分転換できる時間を提供します。今回のエクスカーションでは以下の2コースから選んで頂きます。

1. 比叡山山頂にて延暦寺の拝観

比叡山のコースでは坂本ケーブルにて山頂までのぼり、天台宗総本山延暦寺を拝観します。

[天台宗総本山 比叡山延暦寺 ホームページ](#)

2. 延暦寺の門前町として栄えた坂本巡り

坂本の街を巡るコースでは自然石を積み上げて作られた石垣や白壁の塀などが調和した町並みに加え、日本で最も古い神社の一つである日吉大社をはじめとした寺社や史跡等を巡ります。

[山王総本宮 日吉大社 ホームページ](#)

また、今回のエクスカーションでは、散策スポットの説明を合宿運営委員が英語で行います。

10. 参加者各位にご用意頂くもの

① ポスターセッション用のポスター（紙媒体ヨコ841mm×タテ1189mm(A0)以下)

② 参加費

※ ①、②は必需品です。必ずご持参ください。

※ PCは1グループに1台ずつご用意する予定です。

※ 個人持ちPCも持ってきて頂いて結構です。

※ 議論に必要な紙やペン等をグループごとにご用意する予定です。

※ 質問がございましたら、以下までお問い合わせください。

➤ お問い合わせ先：gcoe.yrr.2011@gmail.com

・ポスターセッション用ポスター

※資料は原則英語とします

ご自身の研究内容に関して、詳細に議論できる内容を印刷の上、ご持参ください。ポスターは指定の位置に掲示して頂きます。なお、A0サイズのポスターである必要はありません。発表スライドを印刷し並べたものでも結構です。

ポスターセッションではできる限り多くの発表を聴いてください。グループディスカッションのテーマを決める際の参考にさせていただきます。

※ 研究内容を公に出来ない場合でも、分子名など特定項目を伏せる事で対応出来るようでしたら、是非ご協力をお願いします。不可能な場合は、既に公開された過去の研究などでも構いません。

・参加費用

ホテル代を含む参加費用21,000円を合宿初日に集金致しますので、忘れずお持ちください。

11. 合宿当日集合場所

豊中キャンパスもしくは吹田キャンパスからお選び頂けます。

(どちらのキャンパスからもバスは発着します。)

集合場所や時間に関する詳細は、後日、ご連絡します。

12. GCOE合宿公式ホームページ

URL: <http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/events/wakate-h23/index.html>

13. お問い合わせ先

下記の担当者、または各研究室の代表者までお問い合わせください。

募集担当者（酒井 裕司）連絡先：gcoe.yrr.2011@gmail.com

実行委員長（松田 一成）連絡先：kaz4041@fbs.osaka-u.ac.jp